

第25回

品川区世論調査 あらまし

この小冊子は、2022（令和4）年に実施した「第25回世論調査」の要約版です。今回は、経年変化をみる定住性や重点施策などの項目に加え、公共施設、区議会、読書と図書館利用などの項目についてもおたずねしました。調査の結果は、今後の区政運営にあたり貴重な資料として活用してまいります。

ご協力いただきました区民の皆様には心より御礼を申し上げますとともに、調査結果の概要をお知らせいたします。

調査の内容

- 1 定住性について
- 2 生活環境について
- 3 重点施策について
- 4 公共施設について
- 5 区議会について
- 6 地域活動への参加について
- 7 スポーツ・運動の実施状況について
- 8 環境について
- 9 ごみ減量・リサイクルについて
- 10 みどりについて
- 11 心の健康・自殺対策について
- 12 防災について
- 13 読書と図書館利用について
- 14 広報とデジタル化について
- 15 シティプロモーションについて

調査概要

- 調査対象：品川区在住の満18歳以上の男女
（令和4年7月1日現在）
- 抽出方法：層化2段無作為抽出法
- 対象者数：2,500人
- 調査方法：郵送配布・郵送回収またはインターネット回答
- 回収数：1,197人
（郵送回収 761人 インターネット回答 436人）
- 回収率：47.9%
- 調査期間：令和4年8月1日～8月31日
- 調査機関：株式会社 CCNグループ

この要約版は、世論調査の結果を抜粋し、わかりやすくまとめたものです。なお、回答比率(%)は少数第2位を四捨五入し、少数第1位まで表記しているため、回答比率の合計が100.0%にならない場合があります。

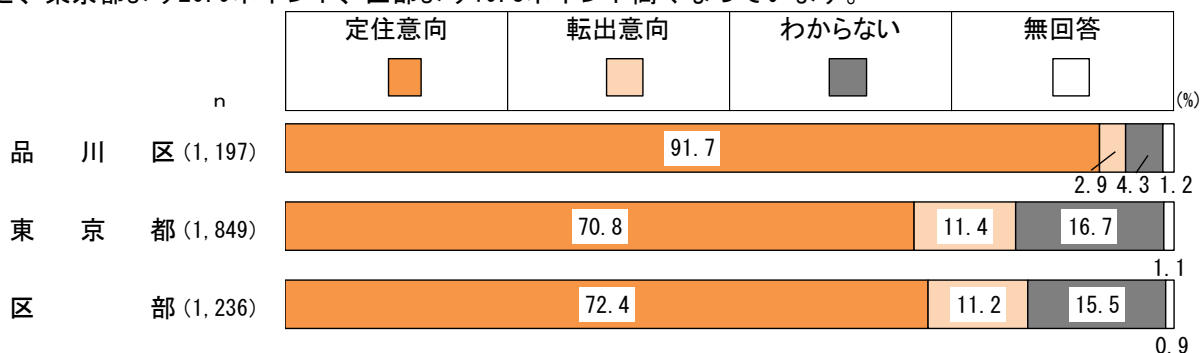
詳しい調査結果は、第25回世論調査として区ホームページと、区政資料コーナー（第三庁舎3階）または、図書館で閲覧することができます。

1 定住性について

■ 定住意向

区民の定住意向は高い

定住意向をたずねたところ、「ずっと住みたい」（45.8%）と「当分は住みたい」（45.9%）を合わせた『定住意向』は91.7%であり、非常に高い割合となっています。また、東京都、区部との比較で見ると、東京都より20.9ポイント、区部より19.3ポイント高くなっています。

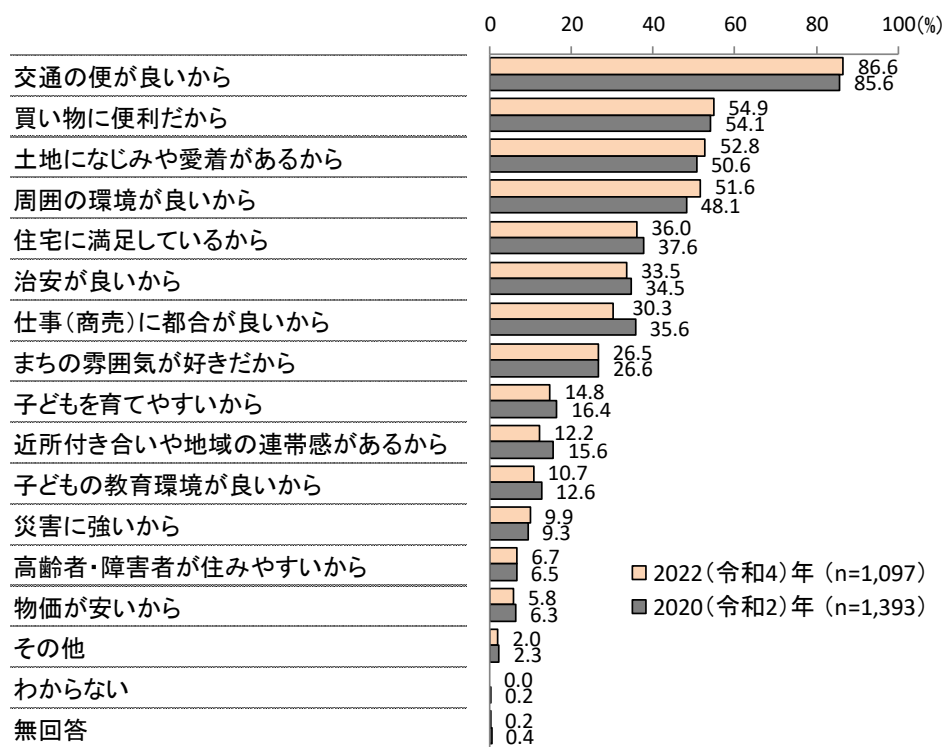


※注 意 点: 東京都と区部は地域定住意向の調査結果
資料出所: 東京都生活文化局「都民生活に関する世論調査」(令和3年)

■ 定住意向理由

交通の便が良いという理由が上位

品川区に「ずっと住みたい」「当分は住みたい」と思う理由は、「交通の便が良いから」が86.6%で最も高く、次いで「買い物に便利だから」（54.9%）、「土地になじみや愛着があるから」（52.8%）、「周囲の環境が良いから」（51.6%）、「住宅に満足しているから」（36.0%）の順となっています。

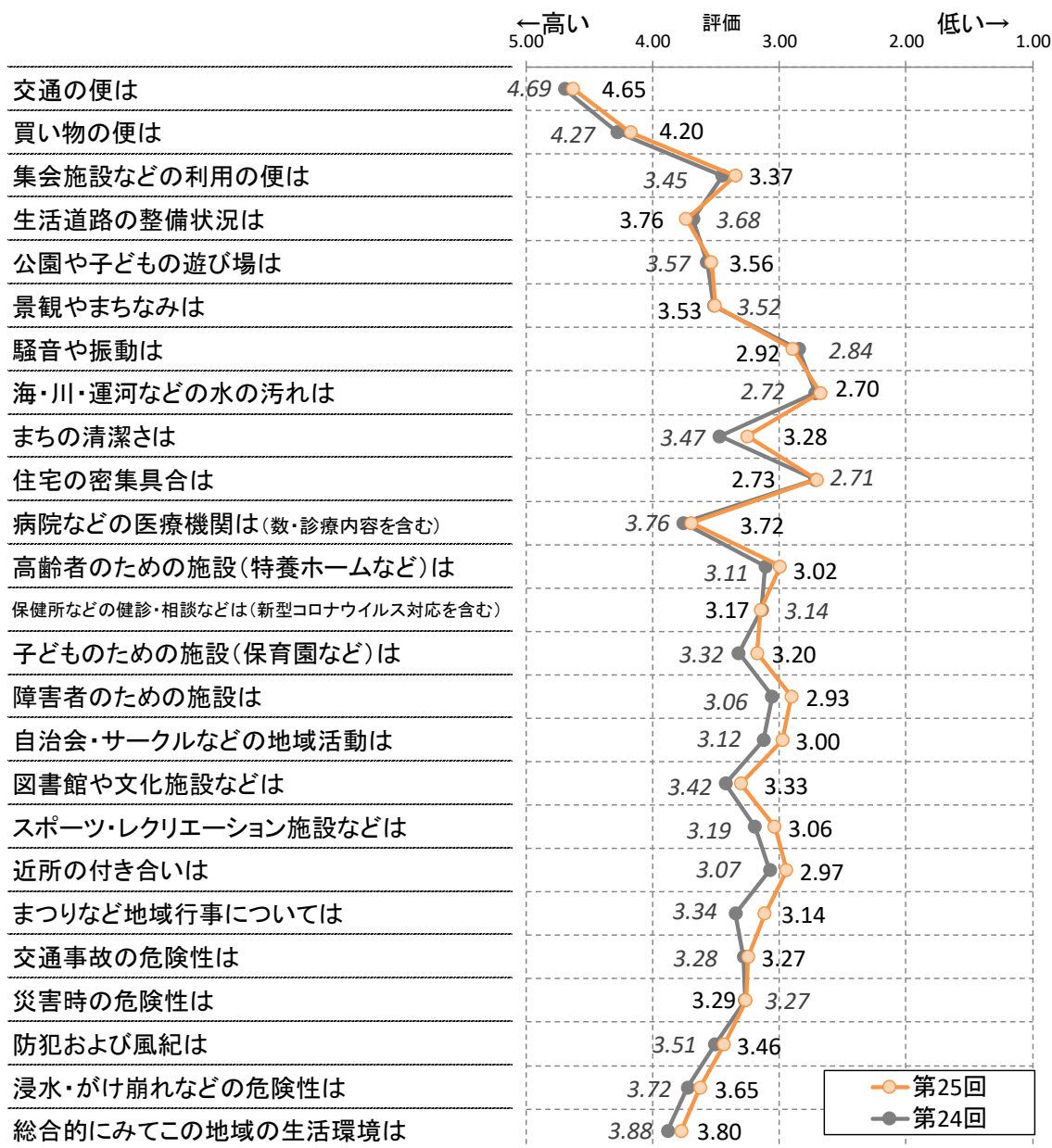


2 生活環境について

■ 生活環境についての評価

交通や買い物の便での評価が高く、環境面での評価がやや低い

生活環境を評価点でみると、「交通の便」「買い物の便」は4点を超える高い評価点となっています。他方、「騒音や振動」「海・川・運河などの水の汚れ」「住宅の密集具合」「近所の付き合い」といった、生活の快適さに関する項目で評価点がやや低くなっています。



評価点 = (「良い」の回答者数×5点 + 「やや良い」の回答者数×4点 + 「普通」の回答者数×3点 + 「やや悪い」の回答者数×2点 + 「悪い」の回答者数×1点) ÷ 回答者数

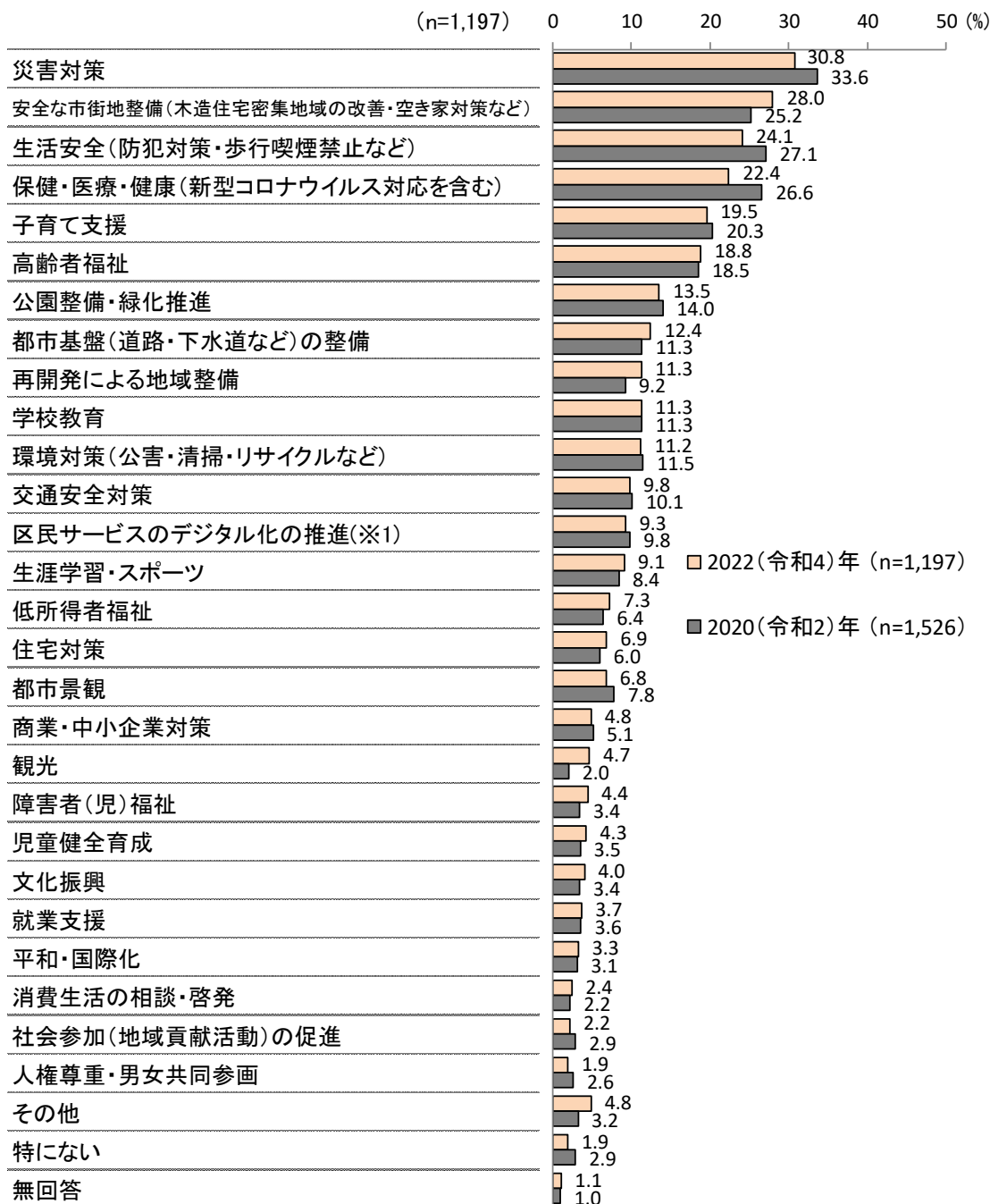
図中、黒字は2022(令和4)年の評価点を、灰色(斜体)は2020(令和2)年の評価点を示します。

3 重点施策について

■ 今後特に力を入れてほしい施策

「災害対策」「安全な市街地整備(木造住宅密集地域の改善・空き家対策など)」「生活安全(防犯対策・歩行喫煙禁止など)」が上位3項目

区の施策の中で、今後特に力を入れてほしい施策は、「災害対策」が30.8%で最も高く、次いで「安全な市街地整備(木造住宅密集地域の改善・空き家対策など)」(28.0%)、「生活安全(防犯対策・歩行喫煙禁止など)」(24.1%)、「保健・医療・健康(新型コロナウイルス対応を含む)」(22.4%)の順となっています。



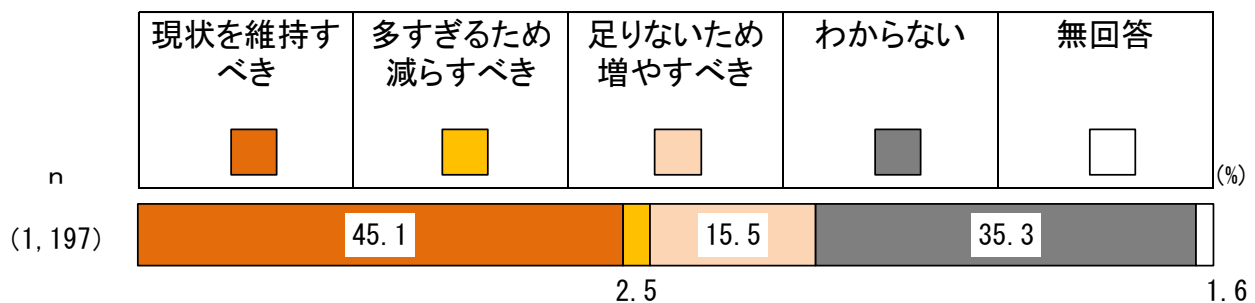
(※1) 「区民サービスのデジタル化の推進」は2020(令和2)年調査では「区民サービスのIT化・情報化の推進」

4 公共施設について

■ 区全体の公共施設の数

「現状を維持すべき」が4割半ば

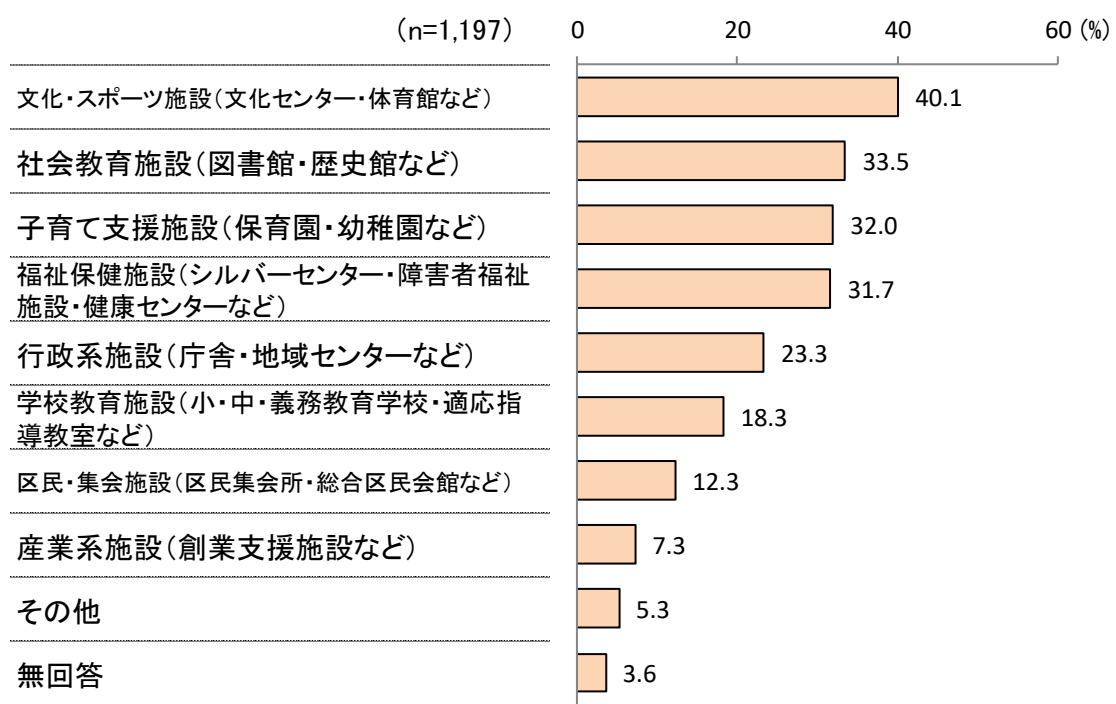
区全体の公共施設の数についてたずねたところ、「現状を維持すべき」が45.1%で最も高く、次いで、「足りないため増やすべき」が15.5%、「多すぎるため減らすべき」が2.5%となっています。



■ あなたが住んでいる地区に優先的に整備または維持していくべきと考える施設

「文化・スポーツ施設」が4割

優先的に整備または維持していくべきと考える施設をたずねたところ、「文化・スポーツ施設」が40.1%で最も高く、次いで「社会教育施設」(33.5%)、「子育て支援施設」(32.0%)、「福祉保健施設」(31.7%)の順となっています。

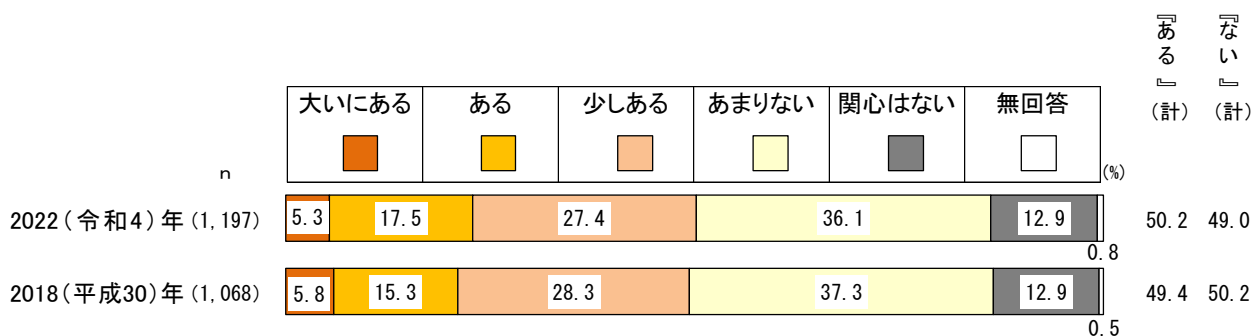


5 区議会について

■ 区議会への関心

関心の『ある』人は約5割

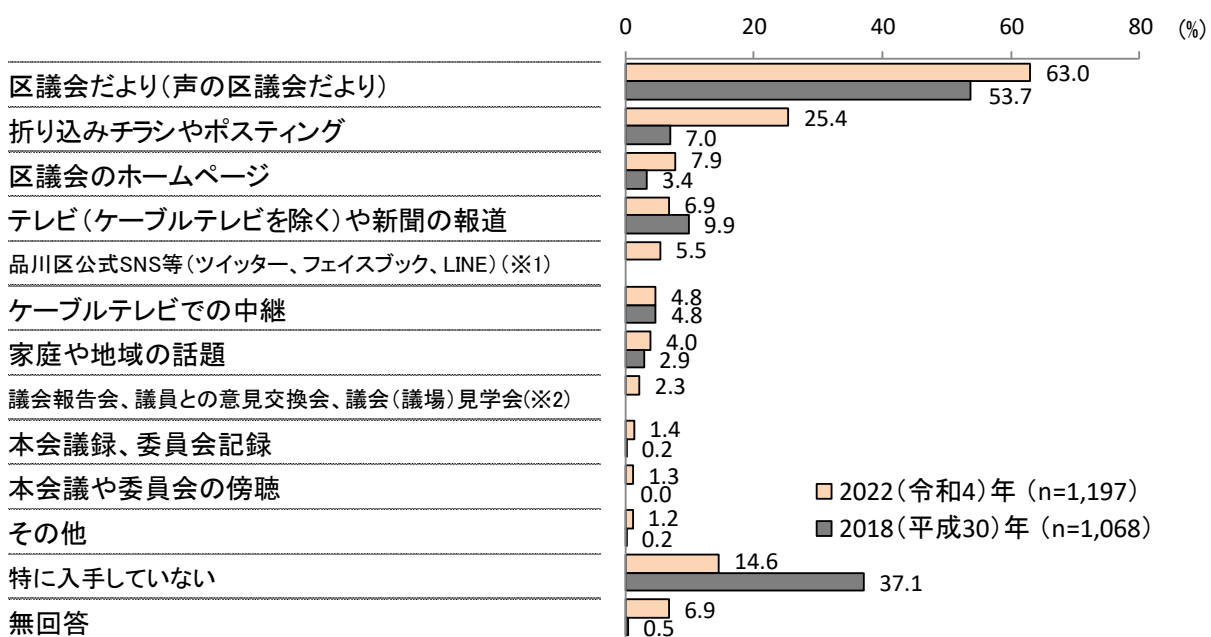
区議会への関心をたずねたところ、「大いにある」(5.3%)と「ある」(17.5%)と「少しある」(27.4%)を合わせた『ある』計は50.2%となっています。



■ 区議会情報の現在の入手先

現在の入手先は「区議会だより(声の区議会だより)」が最も高く6割台半ば

区議会情報の現在の入手先をたずねたところ、「区議会だより(声の区議会だより)」が63.0%で最も高く、次いで「折り込みチラシやポスティング」(25.4%)、「区議会のホームページ」(7.9%)の順となっています。



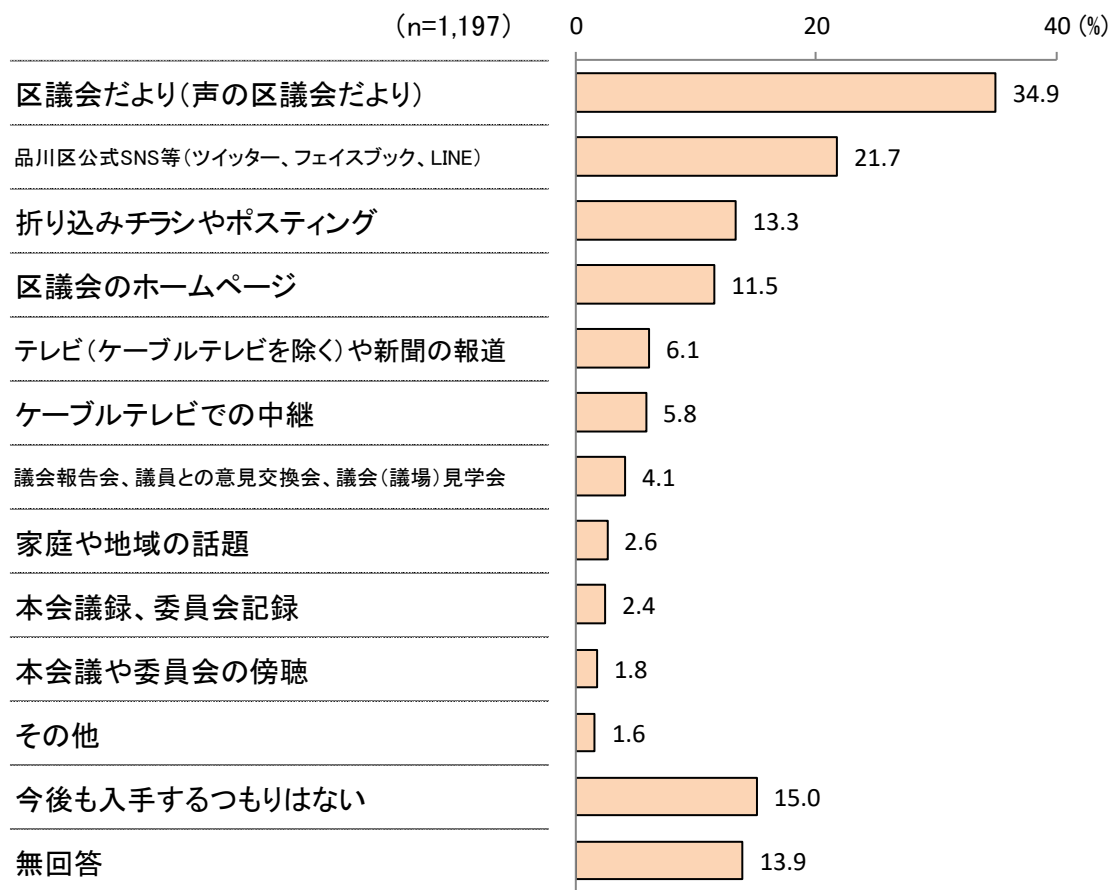
(※1) 「品川区公式 SNS 等(ツイッター、フェイスブック、LINE)」は2022(令和4)年調査で追加した項目

(※2) 「議会報告会、議員との意見交換会、議会(議場)見学会」は2022(令和4)年調査で追加した項目

■ 区議会情報の今後の入手先

今後の入手先は「区議会だより（声の区議会だより）」が最も高く3割半ば

区議会情報の今後の入手先をたずねたところ、「区議会だより（声の区議会だより）」が34.9%で最も高く、次いで「品川区公式 SNS 等（ツイッター、フェイスブック、LINE）」（21.7%）、「折り込みチラシやポスティング」（13.3%）の順となっています。

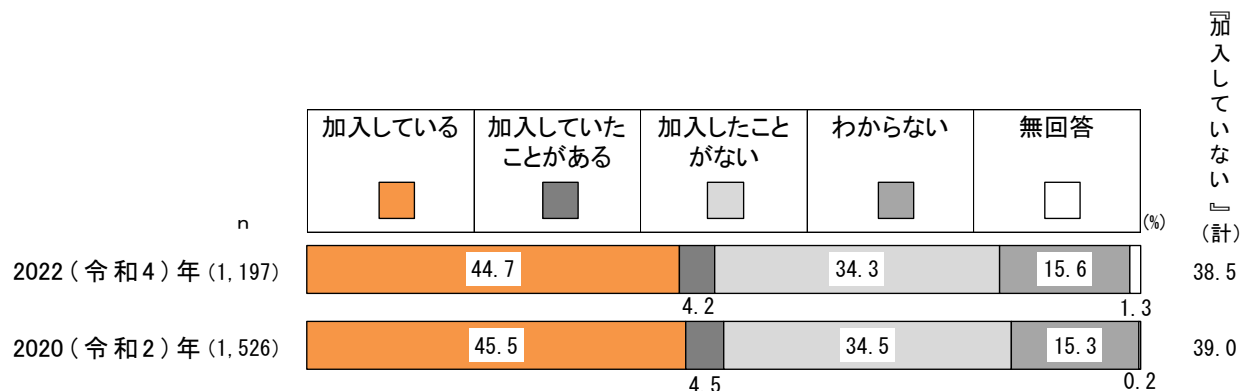


6 地域活動への参加について

■ 町会・自治会の加入状況

「加入している」が4割半ば

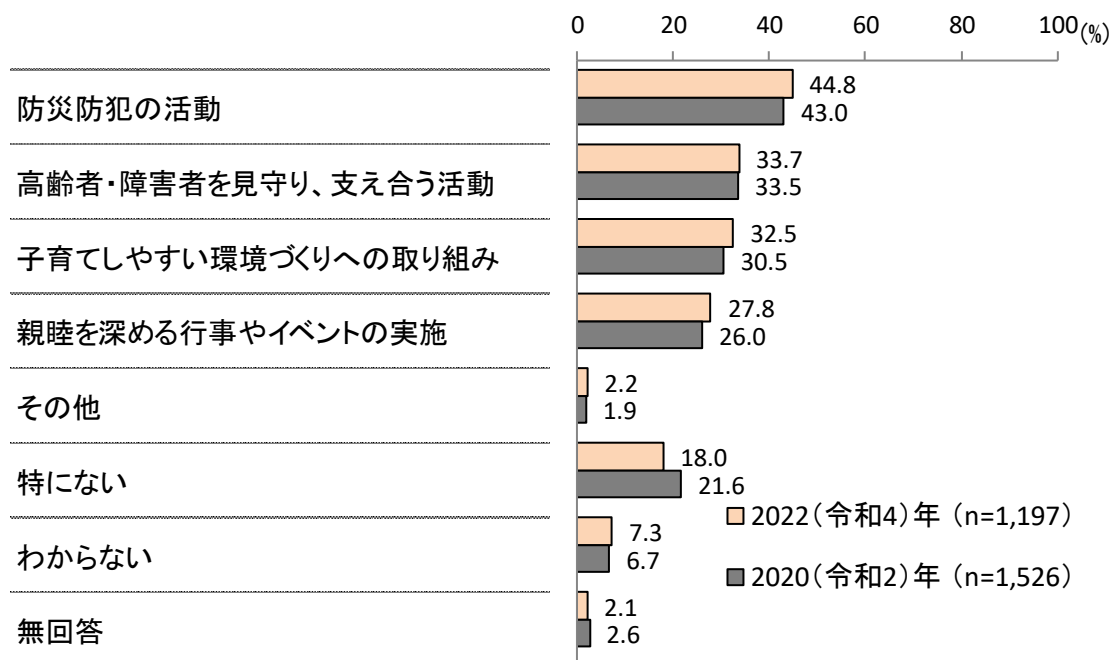
町会・自治会の加入状況をたずねたところ、「加入している」が44.7%で4割半ばとなっています。一方、「加入していたことがある」（4.2%）と「加入したことがない」（34.3%）を合わせた『加入していない』は38.5%となっています。



■ 町会・自治会に期待すること

「防災防犯の活動」が4割を超える

町会・自治会に期待することをたずねたところ、「防災防犯の活動」が44.8%で最も高く、次いで「高齢者・障害者を見守り、支え合う活動」（33.7%）、「子育てしやすい環境づくりへの取り組み」（32.5%）、「親睦を深める行事やイベントの実施」（27.8%）の順となっています。

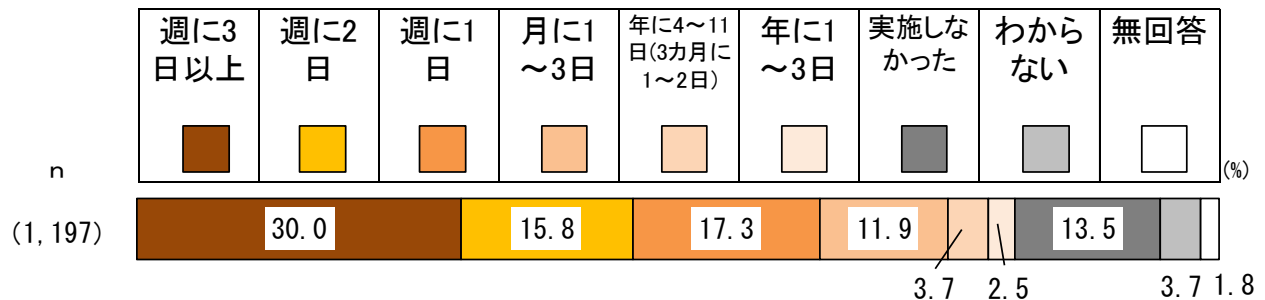


7 スポーツ・運動の実施状況について

■ スポーツや運動を行う頻度

「週に3日以上」が3割、「実施しなかった」が1割半ば

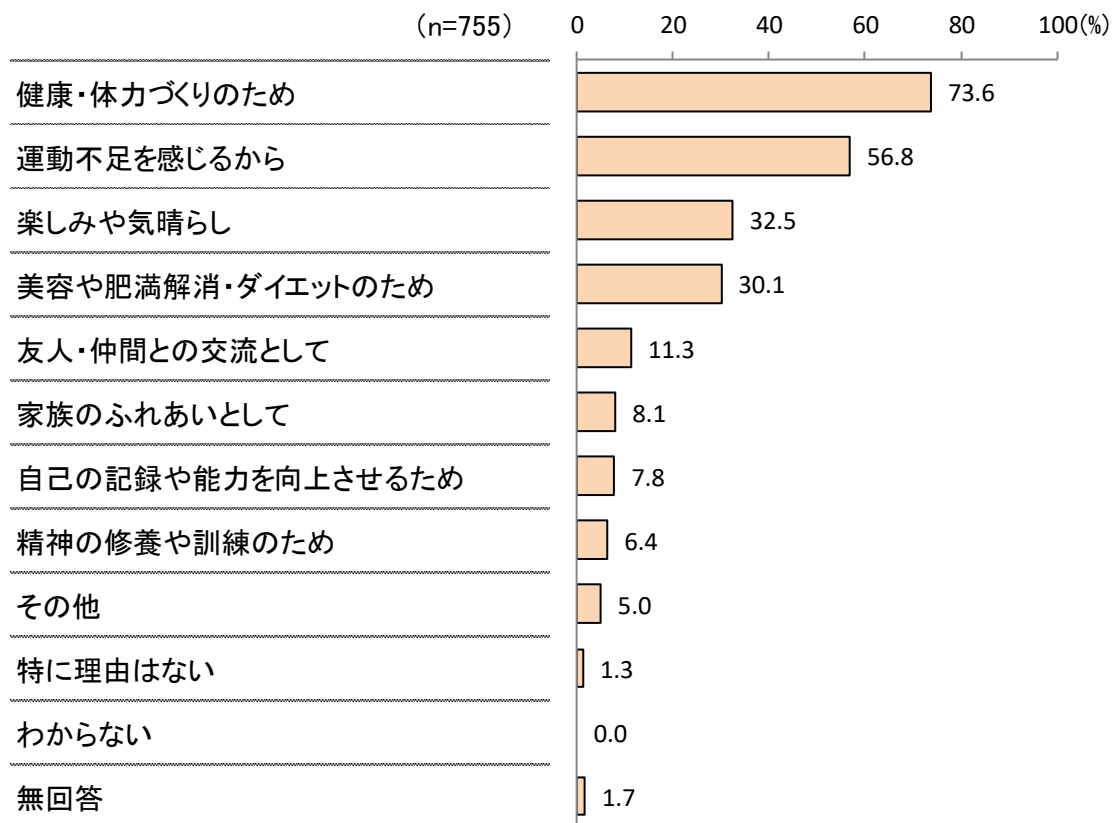
スポーツや運動を行う頻度をたずねたところ、「週に3日以上」が30.0%で最も高く、次いで「週に1日」(17.3%)、「週に2日」(15.8%)、「月に1～3日」(11.9%)となっており、週に1日以上実施した方が63.1%となっています。一方、「実施しなかった」は13.5%となっています。



■ 週に1日以上実施した理由

「健康・体力づくりのため」が7割半ば

スポーツや運動を実施した理由をたずねたところ、「健康・体力づくりのため」が73.6%で最も高く、次いで「運動不足を感じるから」(56.8%)、「楽しみや気晴らし」(32.5%)、「美容や肥満解消・ダイエットのため」(30.1%)、「友人・仲間との交流として」(11.3%)の順となっています。

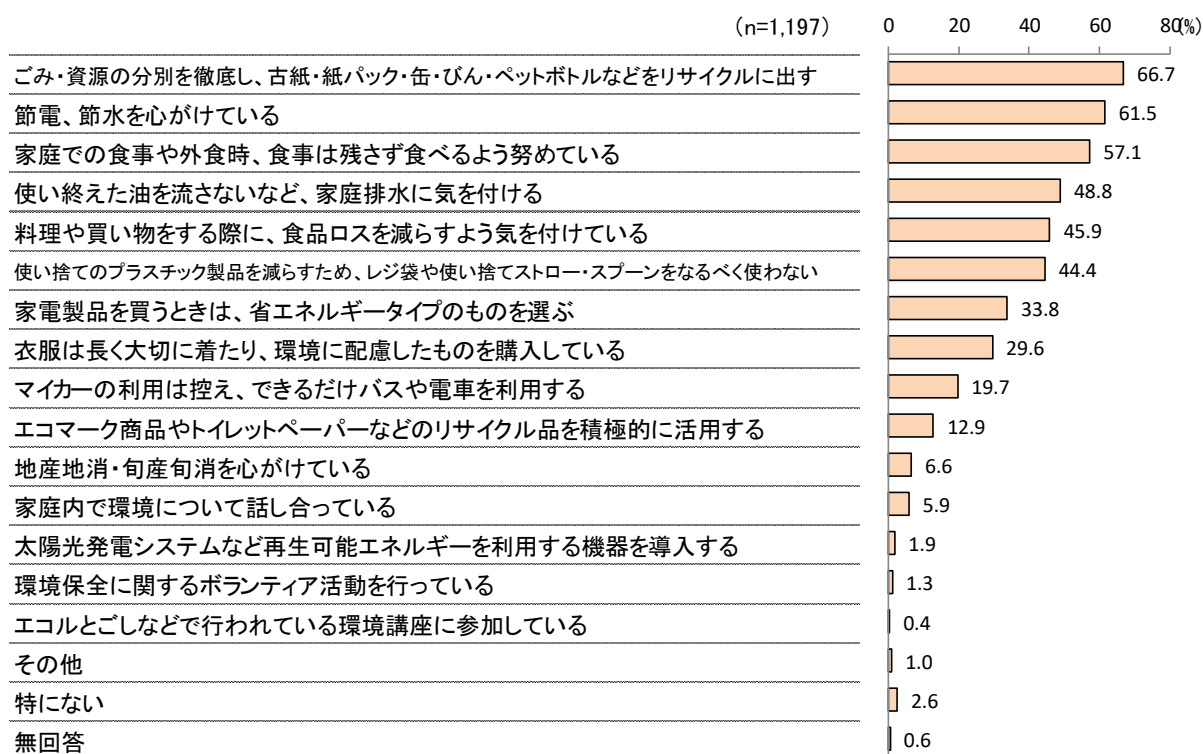


8 環境について

■ 環境を守るために日常生活で心がけていること

「ごみ・資源の分別を徹底し、古紙・紙パック・缶・びん・ペットボトルなどをリサイクルに出す」が6割半ば

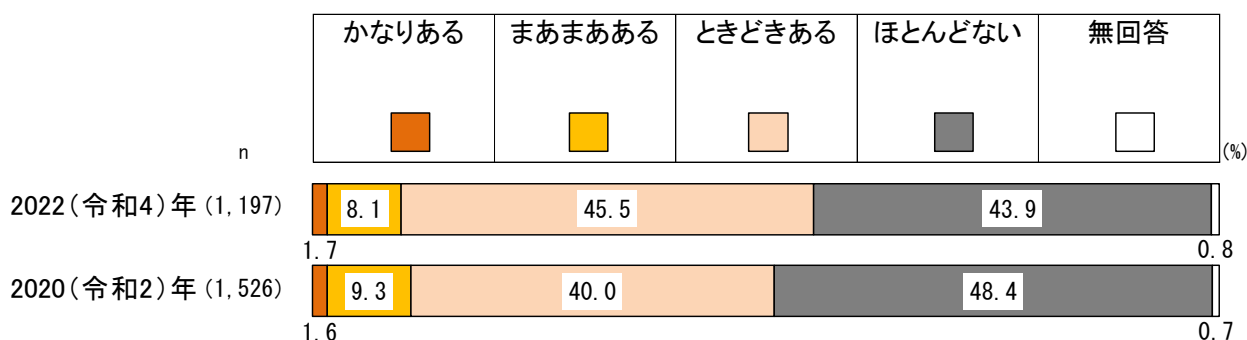
環境を守るために日常生活で心がけていることをたずねたところ、「ごみ・資源の分別を徹底し、古紙・紙パック・缶・びん・ペットボトルなどをリサイクルに出す」が66.7%で最も高く、次いで「節電、節水を心がけている」(61.5%)、「家庭での食事や外食時、食事は残さず食べるよう努めている」(57.1%)、「使い終わった油を流さないなど、家庭排水に気を付ける」(48.8%)、「料理や買い物をする際に、食品ロスを減らすよう気を付けている」(45.9%)の順となっています。



■ 家庭で食べられる食品を捨ててしまうこと

「ときどきある」が4割半ば

家庭で食べられる食品を捨ててしまうことがあるかたずねたところ、「かなりある」が1.7%、「まあまあある」が8.1%、「ときどきある」が45.5%となっています。一方、「ほとんどない」は43.9%となっています。

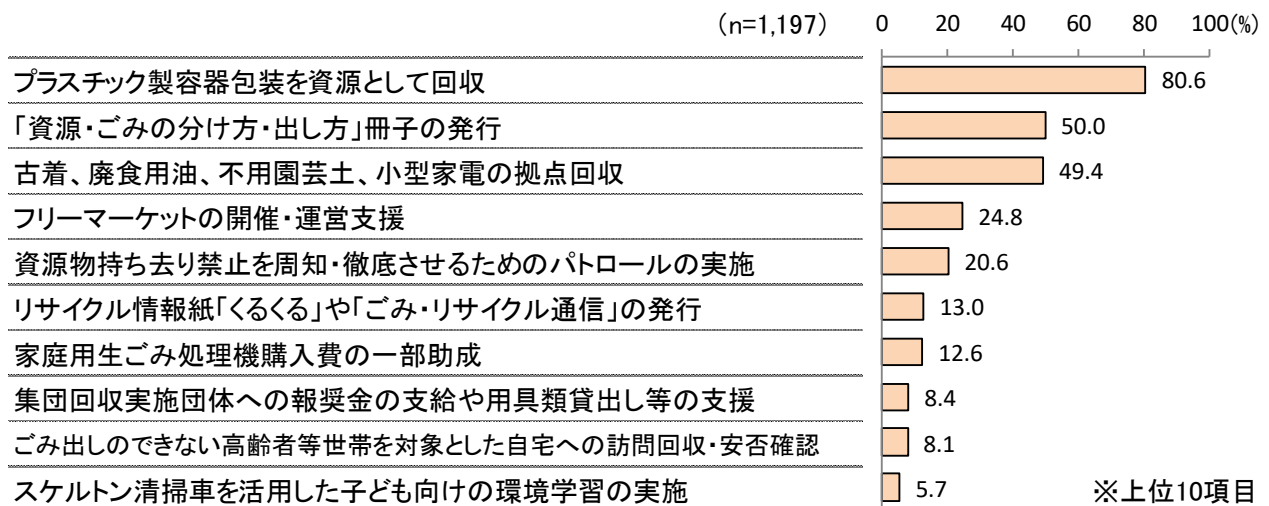


9 ごみ減量・リサイクルについて

■ 各種事業の認知度

「プラスチック製容器包装を資源として回収」が8割

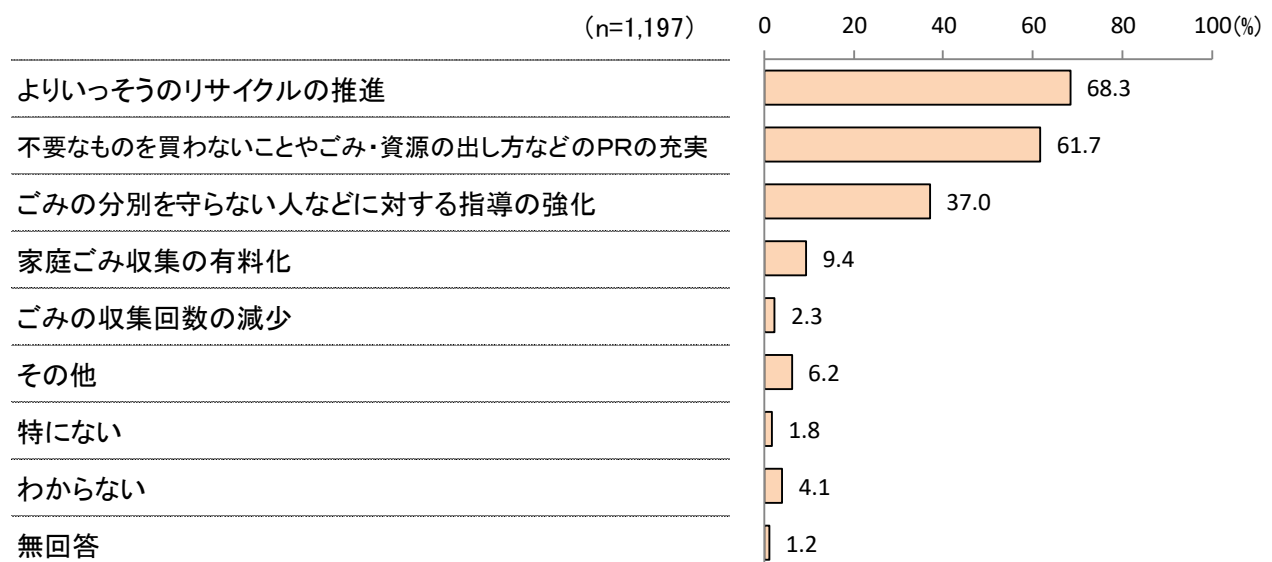
各種事業の認知度をたずねたところ、「プラスチック製容器包装を資源として回収」が80.6%で最も高く、次いで「資源・ごみの分け方・出し方」冊子の発行（50.0%）、「古着、廃食用油、不用園芸土、小型家電の拠点回収」（49.4%）、「フリーマーケットの開催・運営支援」（24.8%）の順となっています。



■ 今後の事業で必要なこと

「よりいっそうのリサイクルの推進」が7割近く

今後のごみ・リサイクル事業で必要と思われることをたずねたところ、「よりいっそうのリサイクルの推進」が68.3%で最も高く、次いで「不要なものを買わないことやごみ・資源の出し方などのPRの充実」（61.7%）、「ごみの分別を守らない人などに対する指導の強化」（37.0%）の順となっています。

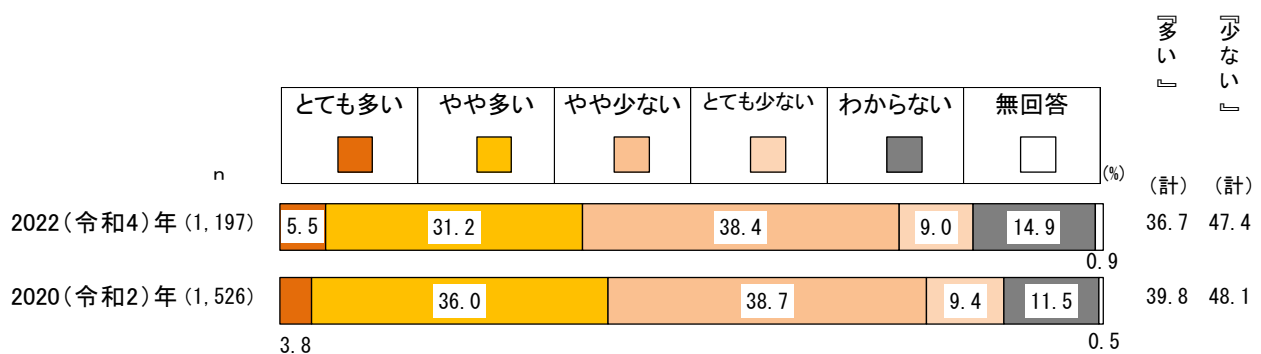


10 みどりについて

■ 品川区のみどりについて

『多い』が3割半ば

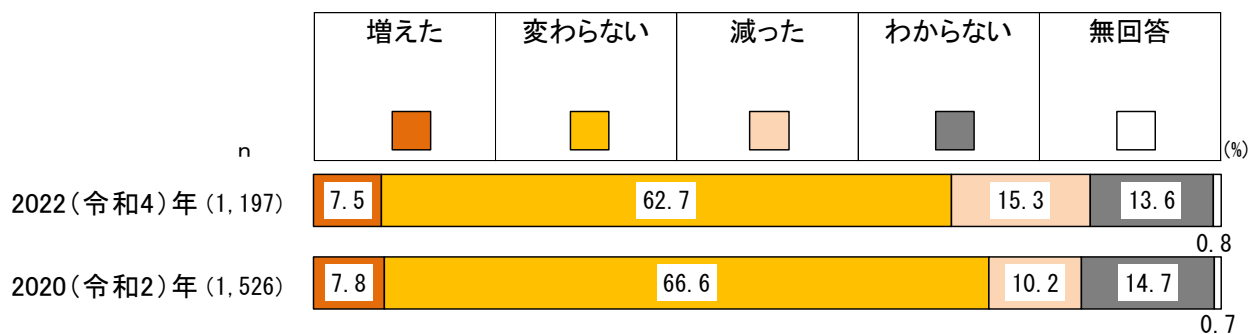
品川区のみどりについてたずねたところ、「とても多い」(5.5%)と「やや多い」(31.2%)を合わせた『多い』は36.7%となっています。一方、「やや少ない」(38.4%)と「とても少ない」(9.0%)を合わせた『少ない』は47.4%となっています。



■ 周辺のみどりの変化

「変わらない」が6割強

住居周辺のみどりの変化についてたずねたところ、「増えた」が7.5%、「変わらない」が62.7%、「減った」が15.3%となっています。

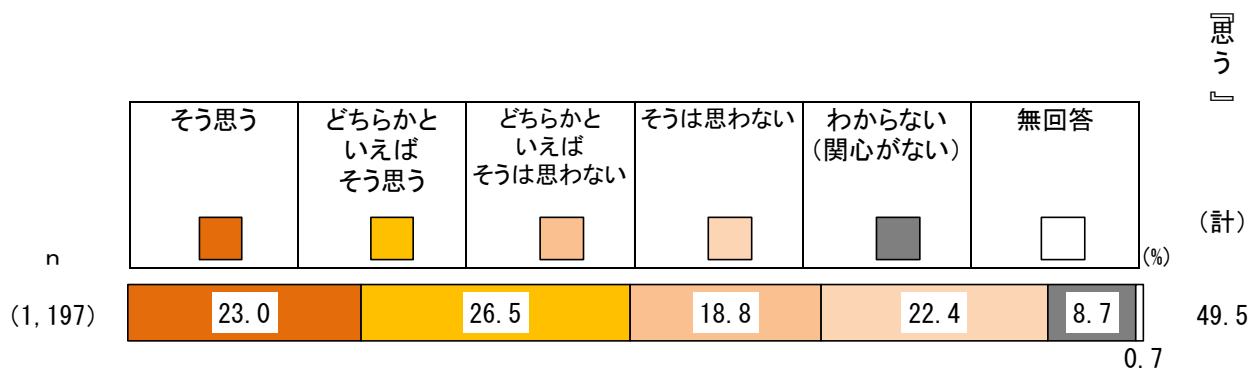


11 心の健康・自殺対策について

■ 自殺対策は自分自身に関わることだと思うか

『思う』が約5割

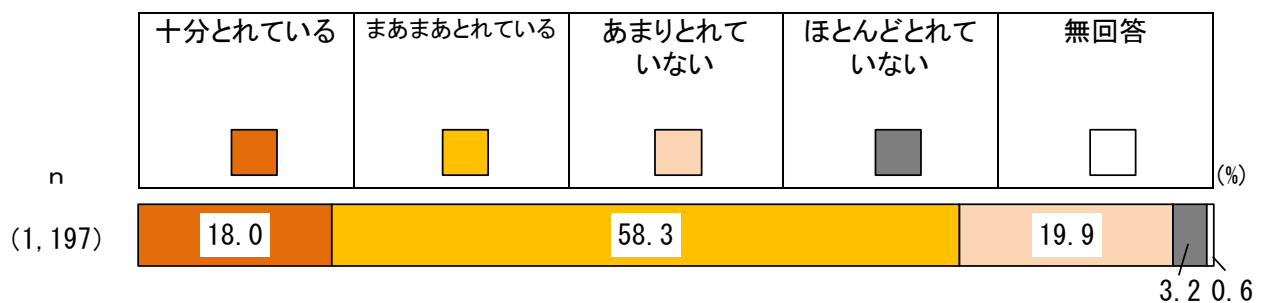
自殺対策は自分自身に関わることだと思うかたずねたところ、「どちらかといえばそう思う」が26.5%で最も高く、次いで「そう思う」（23.0%）、「そうは思わない」（22.4%）となっています。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた、自殺対策は自分自身に関わることだと『思う』は49.5%でした。



■ 心や身体の休養が十分にとれているか

「まあまあとれている」が6割弱

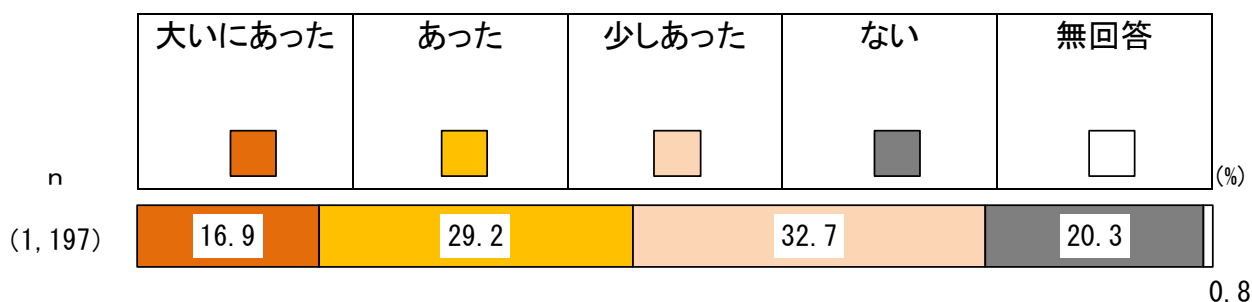
心や身体の休養が十分にとれているかたずねたところ、「まあまあとれている」が最も高く、58.3%となっています。次いで「あまりとれていない」（19.9%）、「十分とれている」（18.0%）となっています。



■ 1カ月間に不安や悩み、ストレスがあったか

「少しあった」が3割強

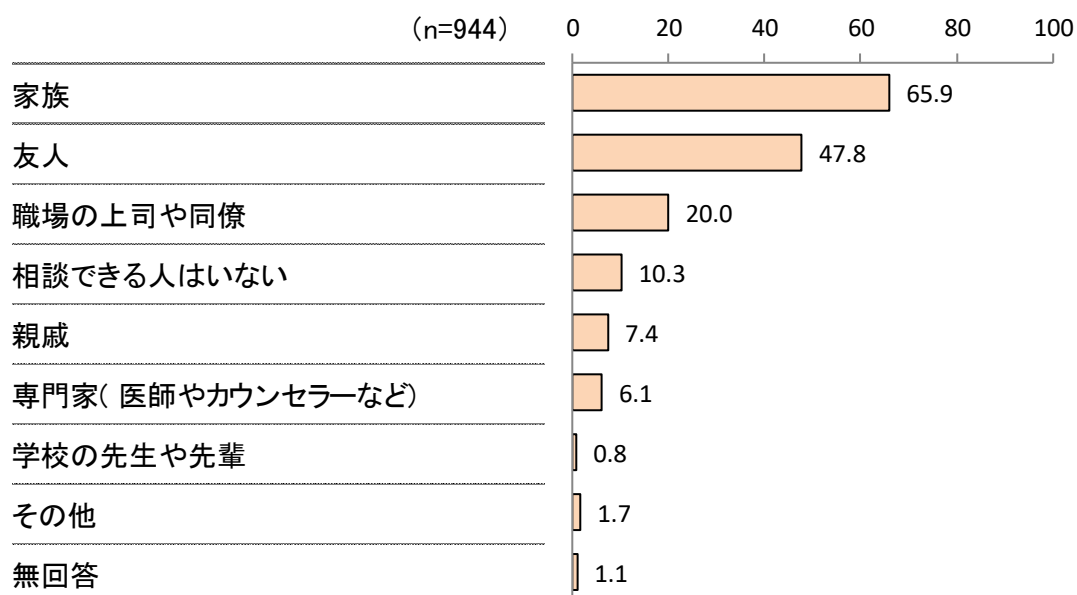
この1カ月間に日常生活で不安、悩み、ストレスなどがあったかたずねたところ、「少しあった」が最も高く、32.7%となっています。次いで「あった」（29.2%）、「ない」（20.3%）、「大いにあった」（16.9%）となっています。



■ 不安、悩みを相談する人はいるか

「家族」が6割半ば

不安、悩みを相談する人はいるかたずねたところ、「家族」が最も高く、65.9%となっています。次いで「友人」（47.8%）、「職場の上司や同僚」（20.0%）、「相談できる人はいない」（10.3%）の順となっています。

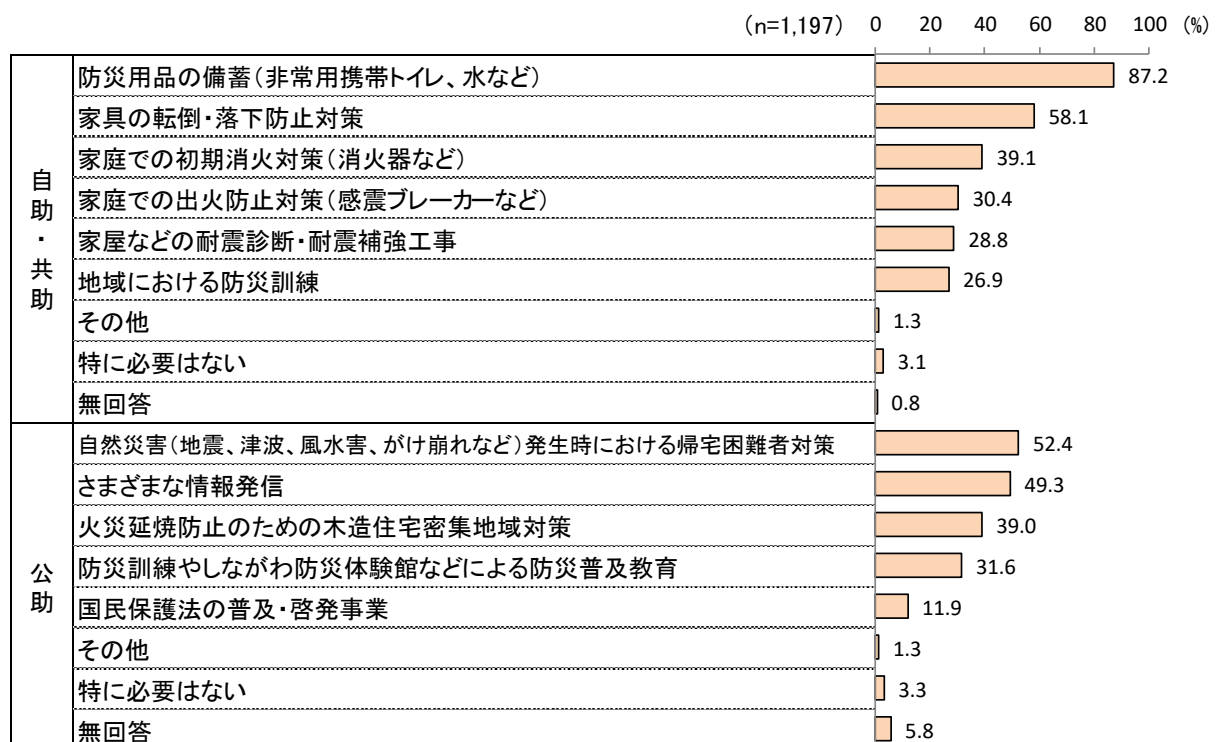


12 防災について

■ 今後充実すべき防災対策

自助・共助では「防災用品の備蓄」、公助では「自然災害発生時における帰宅困難者対策」が高い

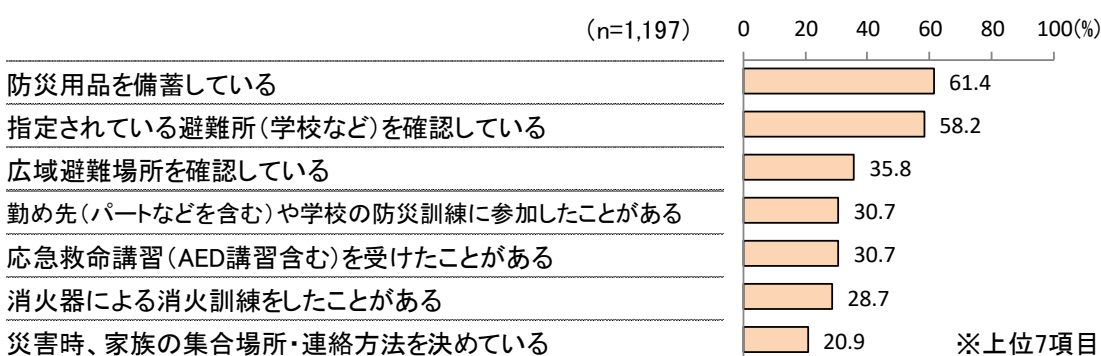
今後充実すべき防災対策についてたずねたところ、＜自助・共助＞では「防災用品の備蓄（非常用携帯トイレ、水など）」が87.2%で最も高く、次いで「家具の転倒・落下防止対策」（58.1%）となっています。＜公助＞では「自然災害（地震、津波、風水害、がけ崩れなど）発生時における帰宅困難者対策」が52.4%で最も高く、次いで「さまざまな情報発信」（49.3%）となっています。



■ 防災に関して既に行っていること

「防災用品を備蓄している」が6割近く

防災に関して既に行っていることをたずねたところ、「防災用品を備蓄している」が61.4%で最も高く、次いで「指定されている避難所（学校など）を確認している」（58.2%）、「広域避難場所を確認している」（35.8%）の順となっています。



13 読書と図書館利用について

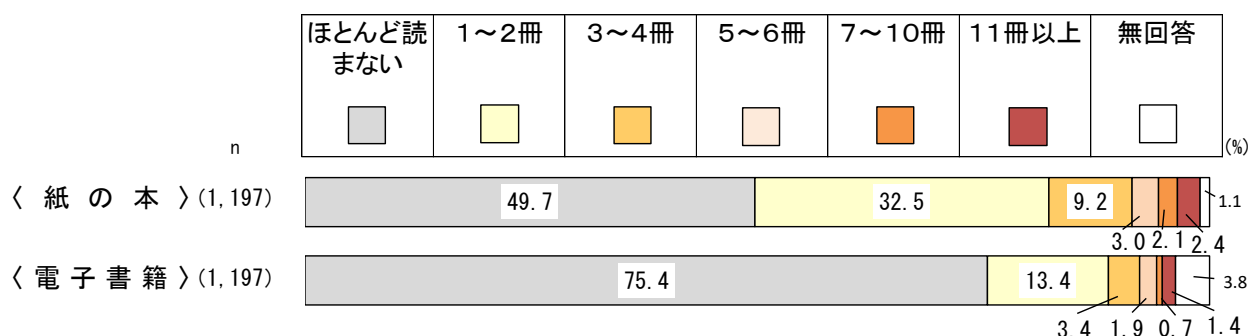
■ 1カ月の読書量

＜紙の本＞「ほとんど読まない」が半数、「1～2冊」が3割強

＜電子書籍＞「ほとんど読まない」が7割台半ば、「1～2冊」が1割台半ば

1カ月の読書量をたずねたところ、＜紙の本＞では「ほとんど読まない」が49.7%となっています。「1～2冊」は32.5%、「3～4冊」は9.2%となっています。

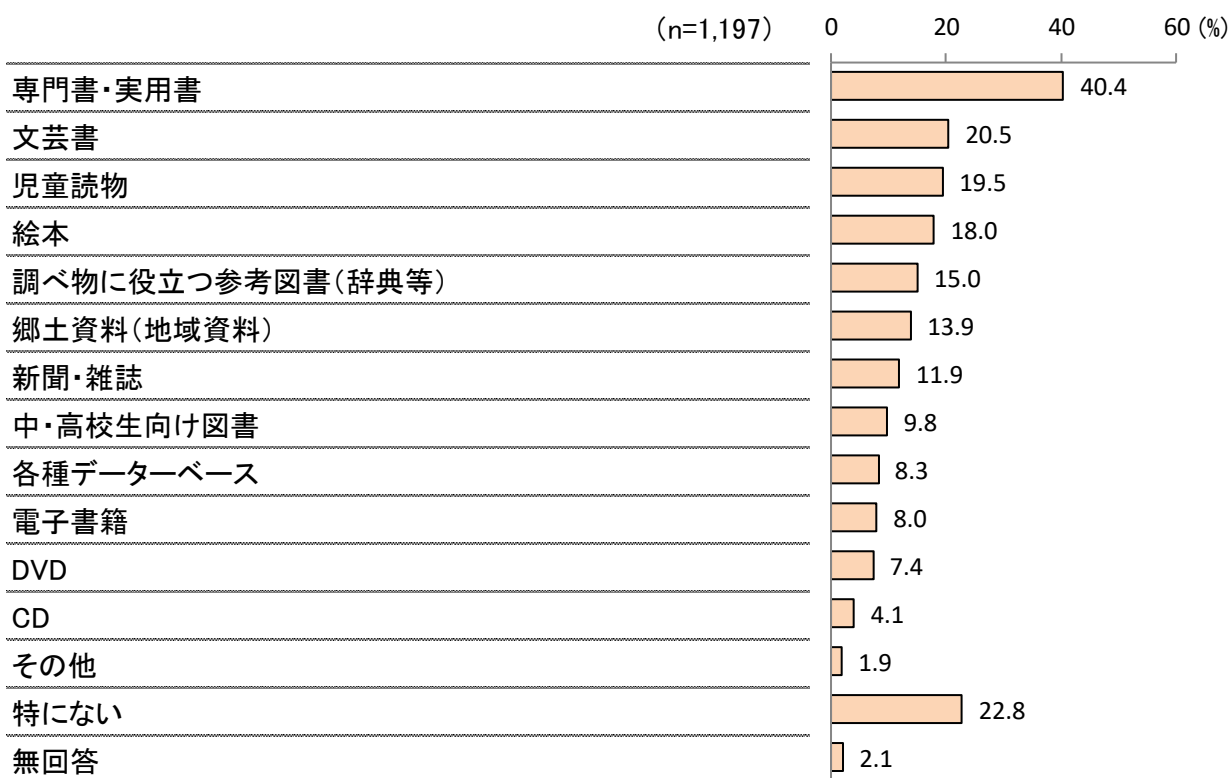
＜電子書籍＞では「ほとんど読まない」が75.4%となっています。「1～2冊」は13.4%となっています。



■ 区立図書館に望む所蔵資料

「専門書・実用書」が4割、「文芸書」が2割台半ば

区立図書館に望む所蔵資料についてたずねたところ、「専門書・実用書」が40.4%で最も高く、次いで「文芸書」（20.5%）、「児童読物」（19.5%）の順となっています。

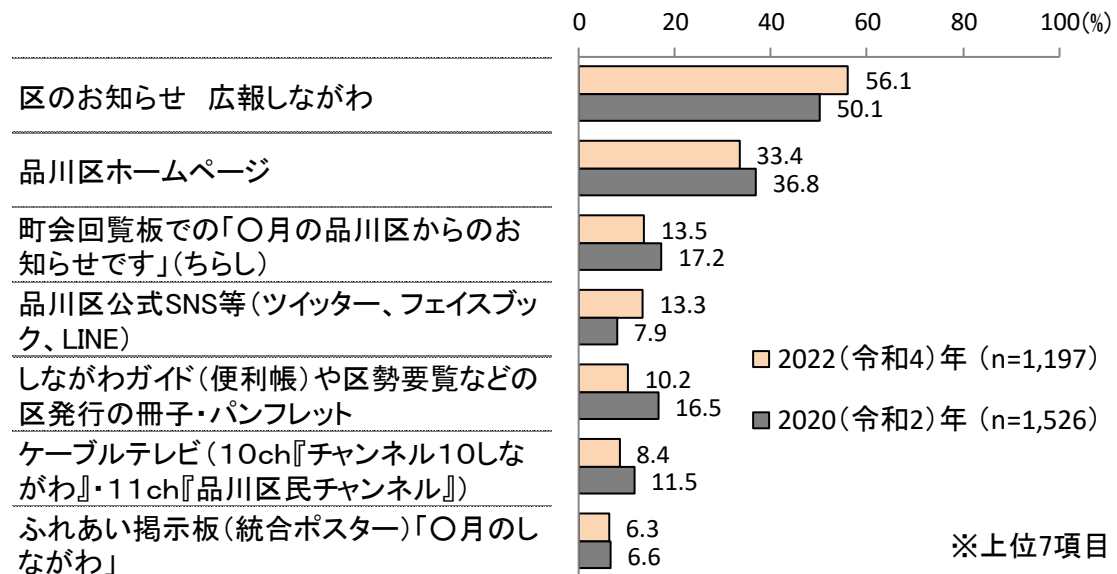


14 広報とデジタル化について

■ 区に関する情報の入手先

「区のお知らせ 広報しながわ」が5割半ば

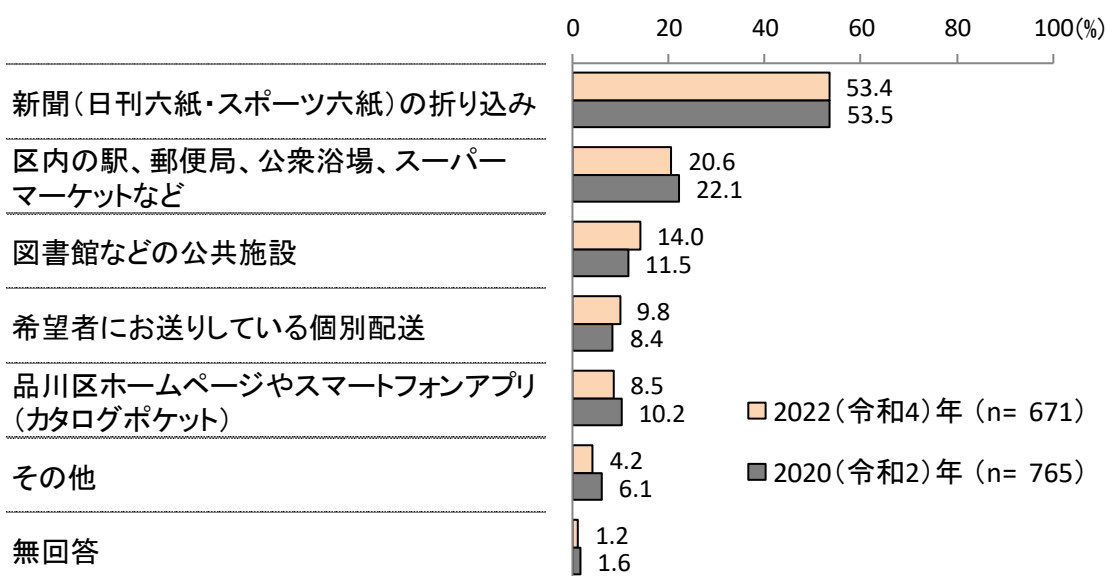
区に関する情報の入手先をたずねたところ、「区のお知らせ 広報しながわ」が56.1%で最も高く、次いで「品川区ホームページ」(33.4%)、「町会回覧板での「〇月の品川区からのお知らせです」(ちらし)」(13.5%)の順となっています。



■ 「広報しながわ」の入手先

「新聞の折り込み」が5割を超える

「広報しながわ」の入手先をたずねたところ、「新聞(日刊六紙・スポーツ六紙)の折り込み」が53.4%で最も高く、次いで「区内の駅、郵便局、公衆浴場、スーパーマーケットなど」(20.6%)、「図書館などの公共施設」(14.0%)、「希望者にお送りしている個別配送」(9.8%)、「品川区ホームページやスマートフォンアプリ(カタログポケット)」(8.5%)の順となっています。

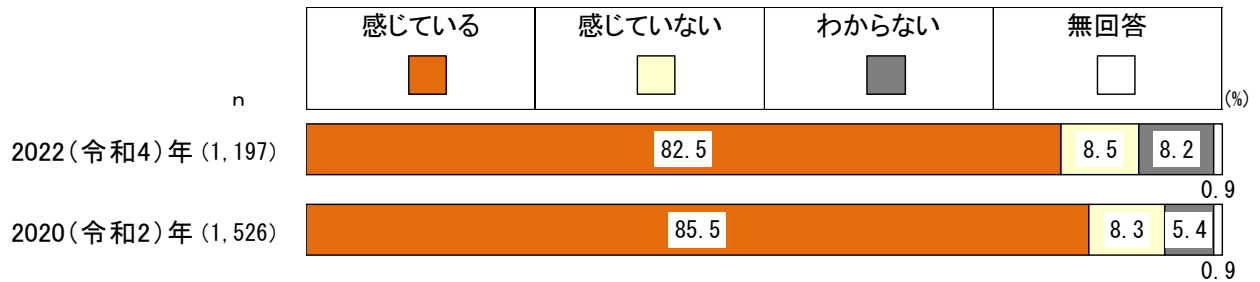


15 シティプロモーションについて

■ 愛着や親しみ、誇り

『感じている』が8割強

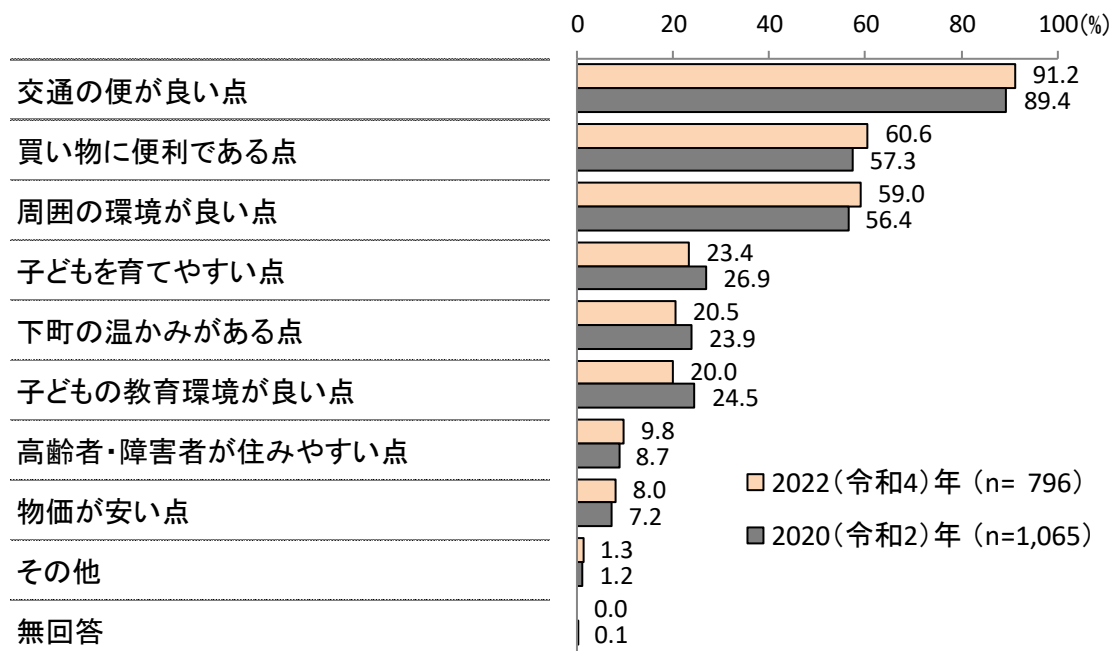
品川区への愛着や親しみ、誇りについてたずねたところ、「感じている」(33.5%)と「どちらかといえば感じている」(49.0%)を合わせた『感じている』は82.5%であり、非常に高い割合となっています。



■ 薦めたい点

「交通の便が良い点」が9割強

品川区の薦めたい点についてたずねたところ、「交通の便が良い点」が91.2%で最も高く、次いで「買い物に便利である点」(60.6%)、「周囲の環境が良い点」(59.0%)の順となっています。



第25回品川区世論調査 要約版
2022（令和4）年12月



発行 品川区企画部広報広聴課
品川区広町2-1-36
03（5742）6643（直通）

実施 株式会社 CCN グループ
東京都千代田区神田鍛冶町3-7-4
03（6262）9716

古紙を配合した紙を使用しています